

【アンケート用紙】

1. 議員になろうと思った理由・きっかけは何ですか？

地元を出て二十数年東京で仕事をしていましたが出産を機に地元へ戻りました。その時になんだか以前に比べて町に元気がないと感じました。その後、子育て支援のボランティア活動や街を元気にするイベント開催などをしていましたが今一つ、肝心なところに声が届かないと日々感じておりました。そんな中、昨年1月の選挙のとき、活動を一緒にしている方などから、遠回しに活動していてもなかなか声が届かないなら議員になって直接意見を言ったらどうかという言葉も頂き、年齢的にも今しかないと思いやってみようと思いました。

2. 議員になって良かったことは？

実際、今まで全くかかわったことのない世界で初めてのことばかりでしたが、今まで接点が無かった色々な立場の方とお話をする機会が増えたこと、また、今まで関わる事がなかった面で市政のことについて新しい見方をすることができるようになったこと、今まで知り得なかった情報も早い機会に触れることができるようになったことはもちろん、日頃の提案はもちろん、一般質問等で市民の皆さんの言葉を執行部に伝えることができるようになったことなどです。

3. 議員になって大変だったことは何ですか？また、それをどのように乗り越えましたか？

とにかく全く新しい世界で 今日行ったら何をするのかがまずわからないというところから始まり、どの会議がどんなことをするのか、また市政全般全てのジャンルのことをある程度把握しなくてはならなかったり、分厚い予算書のどこをチェックしたらいいのかなどわからないことばかりでした。また議会報告会も初体験で市民のみなさんにどうお答えしていいのかも難しくかったです。とにかく新しいことがあつたら忘れないよう覚えていくようにしました。また、他の議員さんの集まる会にも積極的に参加してみなさんの活動を参考にしたり、とにかく経験しないと進まないのので一般質問は毎回登壇してきました。まだまだ勉強を日々続けなくてはなりません。

4. あなたの、ワーク・ライフ・バランスの状況は、どうですか？

忙しいといえば忙しいですが、子どもが生まれてからは、時間を比較的時間を調整できる仕事を続けてきましたので、現在もその延長です。ただ、議員の仕事以外の仕事も自営業的な仕事やボランティア活動が多いので24時間仕事をしているような感じです。特に休日ということもなく、いつでも追われている様な感じです。ただそれが苦痛であったり家庭のことが全くできないということではなく、自分なりに調整をしながらやっています。人にお願ひできることはお願ひして、もう少し議員の仕事にじっくり取り組みゆとりが欲しいのは事実です。

5. ワーク・ライフ・バランスを進めていくには、どのような政策が必要だと思いますか？□

日本では、就労時間の長さ、休暇の取りづらさ、柔軟性のない就労時間、通勤時間の長さなど、「時間」が要因の問題が多いと思われます。昔に比べたら男性の家庭へのかかわりも増えているとは思いますが、家事の負担などはまだまだ女性にかかっているのでも家庭内の労働を二分できるような考え方の普及や大企業では行われている 完全週休二日やフレックスタイム、有給休暇はとらなくてはならないなどの環境が中小企業でも整うことが必要だと思います。

6. 女性議員を増やすには、どうしたら良いと思いますか？

市議会議員選挙によくある 地区推薦制のような出馬形式をやめる 女性定数を決める

7. 尊敬する政治家は？

樋渡圭祐武雄市長 西原茂樹牧之原市長 川勝平太静岡県知事

8. パートナーの有無(事実婚を含む)※該当するものに、○をお願いします

有

(パートナー有の場合)
パートナーの職業

会社員